

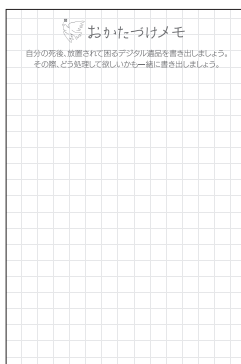


# あとはまかせた。 ～デジタル遺品のおかたづけ～

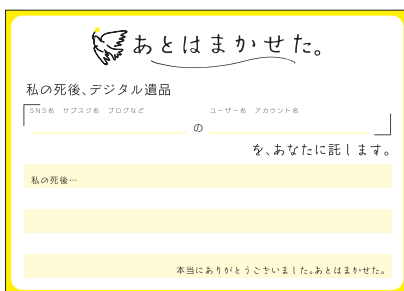
大阪シーリング印刷株式会社

村中成仁、中原聡美、池田恒、籠谷昌典、河澄香菜子、勝山優行、柴田みお、藪脇香帆、石橋恵、清水鈴太（大阪府）

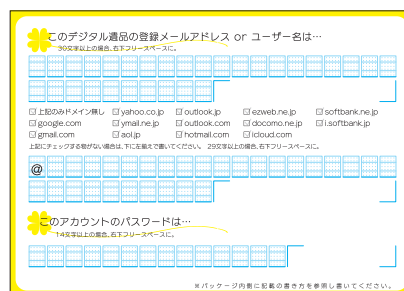
## おかたづけメモ



## あとはまかせた。カード

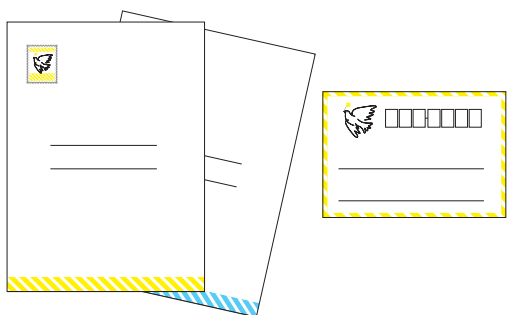


表面



裏面

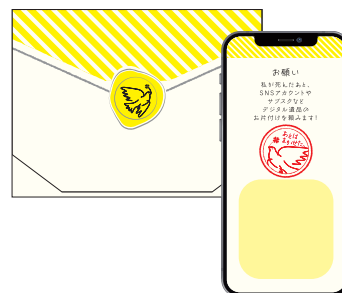
## 振り分け用封筒・宛名シール



## 収納ケース



## 予告カード



## 工夫点

多くの人に利用され日常に浸透している身近なデータやサービスが、「デジタル遺品」として死後永久的に世の中に放置され続けてしまうという問題が起きている。しかし、このデジタル遺品の問題に対し、不安を感じながらも生前に整理を行っている人はほとんどいない。

そこで、①自分がどのようなデジタル遺品を持っているか、②どのようにデジタル遺品の処理をするか、③処理してほしいデジタル遺品を誰に託すか、この3つの問題を解決できる作品をMUDの手法に基づき制作した。

## 講評

終活について色々な書籍やツールが出ているが、いざという時にはデジタルでなくアナログの紙で記録に残すというメリットを評価した。終活という暗くなりがち内容を明るいイメージで、デザインのクオリティも高くまとめられている点が審査委員の方々の共感を得ていた。実現に向けての取り組みに期待したい。